

東大野球部



Vol.123

いあつわて

梅雨冷えが肌寒い季節ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では、7月4日に京都大学との定期戦である双青戦が行われ、4年ぶりの勝利を挙げる事ができました。伝統の一戦を終え、両校の交流をさらに深めることもできました。ここで得られたものを、夏季オープン戦、七大戦、そして秋季リーグ戦へとつなげられるよう、部員一同練習に励んで参ります。ぜひ東大球場へ足をお運びください。

今後とも、東大野球部を宜しくお願いいたします。

今後の日程

〈夏期オープン戦〉

7月18日 13:00～vs 大東文化大@大東文化大G

19日 13:00～vs 神奈川大@神奈川大G



少年時代の夢

今回の特集は、「少年時代の夢」です。今は野球と勉学に打ち込んでいる選手たちですが、少年時代にはどんな夢を持っていたのか、選手5人に聞いてみました。



生田 優人(4年・外野手・仙台二)

小学生の頃の夢は、ノーベル賞をとれるような素晴らしい発見をすることでした。学ぶということが、ひたすら楽しかったです。ちなみにプロ野球選手になりたいとは思っていませんでした。中学生の頃は、夢も特になく、ただ惰性で過ごしていたような気がします。高校生の頃は、東大野球部に入るといふ近くの目標だけを見ていて、将来のことはあまり考えていませんでした。大学を卒業したら、新たな夢を追いかけていきたいです。



風間 拓哉(3年・外野手・渋谷教育学園幕張)

「将来の夢はなんですか。」小さな頃からただ漠然と日々を過ごすことに満足していた僕は、この質問にいつも苦しめられていました。

そんな中でも、小学生の頃公言していたのは、俳優になることでした。テレビっ子だった僕は色々なドラマを観ており、特に『古畑任三郎』という番組が好きでした。観ている内に演じている俳優に憧れを持ち、自分もお芝居をやってみたいと考えたのです。実際俳優になったところで、いわゆる「イケメン俳優」にはなれなかったでしょうが…。

今でも立派な将来像を描けてはいませんが、目の前の小さな目標をコツコツとクリアしていければ、と思います。



福田 守成(3年・投手・時習館)

小学低学年の頃、地震を止めたいと思っていました。というのも僕は愛知県出身で、東海大地震がいつ起きてもおかしくないという話を聞いて以来、地震で死んでしまうのが本当に怖かったからです。た

だ小学生でしたので、地震の神様に会って交渉した
いというような超人的な事を考えていました。そんな
小学生時代から10年以上経ち、地震に関する知識は
ほぼ皆無ですが、地震が怖いことは変わらず、本
当に起こらないでほしいと今でも願っています。



岩井 達哉（2年・投手・天王寺）

僕は高校を卒業するまで、これといった将来の夢
がありませんでした。現役時の大学受験では、野球
の指導者にもなるという軽い考えから教育大学の
体育科を受験したのですが、学力の無さが響き不
合格となってしまい、浪人することになりました。
浪人中もやりたいことが見つからず遊びに耽り、2
年3年と浪人期間が伸びていってしまったのですが、
3浪目で医師という選択肢を考え始め、勉強をする
ようになりました。そして、その年に東大に入ること
ができました。これからは、優秀な医師になると
いう目標に向かって、更に頑張りたいと思います。



佐藤 克哉（2年・内野手・桐蔭学園）

僕の小さい頃の夢は、プロ野球選手でした。はっ
きりとした理由は覚えていませんが、テレビなどで
当時の野球選手の凄いプレーを観て憧れていました。
父親とのキャッチボールから始まり、少年野球チー
ムに入って、野球を始めました。

結局、その夢を実現できなさそうになってしま
いましたが、ここまで自分が野球を続けてくるにあ
たって支えてくださった方々に感謝しながら、残り
の野球人生を全うしたいと思っています。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

現在では野球と勉強との両立に忙しい選手ですが
幼い頃にはそれぞれの夢があったようです。その頃
の自分の夢に打ち込む姿勢は、もしかすると今の野
球に対する姿勢と通じるものがあるのかもしれない
でしょう。真摯な姿勢が必ずやチームに勝利を呼び込
み、夏のオープン戦、七大戦での選手たちの活
躍にご期待下さい。

今後とも、東大野球部をどうぞ宜しくお願い致
します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

